



今月の1枚

(提供先：一般社団法人 茨城県観光物産物産協会)

筑波山からの日の出

つくば市のシンボルである筑波山は、富士山と対比して「西の富士、東の筑波」と称され、朝夕に山肌の色を変えることから「紫峰」とも呼ばれています。奈良時代に作られた『万葉集』には、筑波山に関する歌が二十五首も載せられており、多くの人々に親しまれてきたことがうかがえます。

関東地方に人が住むようになった数千年前から、筑波山は信仰の対象として仰がれ、筑波山神社の神域として多くの人々の手で守られてきました。現在は、山全体が水郷筑波国定公園内の特別保護区に指定され、自然公園法等により手厚く保護されています。

筑波山は、「二神の貴き御山と神代より人の言い継ぎ」と崇められているように、西峯男体山(871m)と東峯女体山(877m)の2つの峰があるため、自然と男女二柱の祖神(筑波男神「伊弉諾尊」^{いざなぎのみこと}と筑波女神「伊弉册尊」^{いざなみのみこと})が祀られました。この二神が山頂の天浮橋に立ち、手にした銚子の先から滴を垂らすと、それが日本の国になったと古事記に記されています。

また、伊弉諾尊と伊弉册尊が結婚し、神々や国を産んだことから、筑波山神社は縁結び、夫婦和合、家内安全、子授け等の御神徳があるとされています。さらに、日本の国を作ったということで、開拓、国家運営、社運隆昌等の御利益もある神社です。

あまり知られていませんが、関東で最も早く初日の出を見ることができるのは筑波山です。元旦には、多くの人が筑波山に登り、初日の出を拝みます。

2016年の初詣は、ご家族・ご友人とともに、約3,000年の歴史を有する筑波山神社へ参拝してみたいはいかがでしょうか。

(筑波総研株式会社 研究員 富山かなえ)



◆場所：茨城県つくば市筑波1
アクセス：【車】常磐自動車道土浦北ICより、
国道125号線経由約40分
【電車・バス】つくばエクスプレスで秋葉原
よりつくば駅まで最速45分、
筑波山シャトルバス約40分